

大正十二年七月

- 芝浦労働組合
- 造船労働組合
- 市電労働組合
- 印刷労働組合
- 信友労働組合
- 正信労働組合
- 日本労働組合連合会
- 日本労働組合連合会
- 東芝労働組合
- 陸軍現業員組合
- 瓦工労働組合
- 明徳労働組合
- 純粋労働組合
- 機械労働組合
- 芝浦労働組合
- 造船労働組合
- 市電労働組合
- 印刷労働組合
- 信友労働組合
- 正信労働組合
- 日本労働組合連合会
- 日本労働組合連合会
- 東芝労働組合
- 陸軍現業員組合
- 瓦工労働組合
- 明徳労働組合
- 純粋労働組合
- 機械労働組合

労働者は国際労働會議を

弾刻せよ

国際労働會議とは何か

第五回国際労働會議の労働代表選出の時期が目前に迫つた。国際労働會議は、政府と資本家が協同して、總て労働問題を解決せんとする「コマカシ」組織である。政府は今日まで官連の労働代表を毎回の會議に送つて、好い加減な條約を結び、しかも之れを實施しない。しかも政府代表として條約締結の責任者たる總理事務局長は現在左大臣の平左で文部大臣の椅子に据つて居る。我々が之れを否認するのは當然である。

労働總同盟の態度

我が日本労働總同盟は第一回国際労働會議の労働代表選出に就いて、政府の取つた官僚的態度に對して極力反對し、大示威運動を敢行した。また昨年第四回国際労働會議の労働代表選出に際しては、同會議の否認と棄權を宣明した。尙ほ海外にある總同盟の同志は、同會議に關する日本政府の頑迷なる態度を強烈に糾弾するところがあつた。

政府の頭痛

我が總同盟の行つて來る猛烈なる反動運動は、漸く日本政府の神經を悩ました。我々の正當なる主張も勇敢なる行動とは、流石の政府をして、ひどく手古摺させたのであつた。そして政府は内地では労働組合から相手にされず、會議に於ては他國の代表から文句を云はれ、さんぐ困。披いた擲句、今年は何んぞ少しは局面展開をやらねばならぬ彼目になつたのだ。その結果が、本年の労働代表選出の方法である。今年も労働代表選出の舟艦として、一千名以上の組合員を有する労働組合を加へたのである。

今年も反對だ

併し横濱な政府は今年もやはり「コマカシ」をやつて居る。労働組合も参加さすといふもの、一千名以上の労働者を有する工場、鑛山、運輸事業にも各一票の投票權を與へ、その投票數が六百乃至八百にも上つて居るに拘らず労働組合の投票權總數に僅に廿分の一にも